

公益財団法人人権教育啓発推進センター

評価項目一覧 ～提案要求事項一覧～ 事業名：令和2年度法務省委託事業大型広報企画

No.	項目	評価区分	評価基準 / 配点			
			基礎点	点	加点	
1. 事業の目的、内容等						
共通	1-01: 規格、仕様	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書上の「5 委託内容」に示された下記の各内容をもれなく満たしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・YouTube広告の実施 ・各シンポジウムにおける事前広報 ・各シンポジウムにおける採録記事の企画・制作（ハンセン病に関する「親と子のシンポジウム」福岡会場の分については、全国紙等だけでなく、中高生新聞等も併せて提案すること） ・効果検証の実施 ・実施結果報告書の作成 ●著作権、肖像権等、権利関係に問題点が見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書上の「5 業務内容」の趣旨について、より効率的かつ有効な工夫がなされている。 	15	
				<ul style="list-style-type: none"> ●YouTubeによる動画広告について、動画再生数及び配信内容の具体的な提案が示され、幅広い層の国民の関心を集め、啓発効果を高めるような工夫がなされている。 	25	
				<ul style="list-style-type: none"> ●各シンポジウムにおける事前広報の企画内容について、具体的かつ合理的な提案がなされ、幅広い層の国民の関心を集め、啓発効果を高めるよう工夫をし、広範な期間に渡る提案・工夫がなされている。 	25	
				<ul style="list-style-type: none"> ●各シンポジウムにおける事前広報の企画内容について、各開催地の事情を踏まえ、訴求効果を十分に考慮した提案がなされている。 	25	
				<ul style="list-style-type: none"> ●人権シンポジウム（神戸会場）、ハンセン病に関する「親と子のシンポジウム」福岡会場における様々な媒体を活用した採録記事の広報について、具体的かつ合理的な提案がなされ、幅広い層の国民の関心を集め、啓発効果を高めるような提案・工夫がなされている。なお、採録記事の掲載媒体の多さ等も加点要素となる。 	25	
				<ul style="list-style-type: none"> ●事業全体の効果検証について、幅広い層の国民の傾向を把握するために効果的な提案・工夫がなされている。ハンセン病に関する「親と子のシンポジウム」福岡会場に係る採録記事の効果検証について、短い期間の中で実施できる効果的な効果検証方法を提案している。 	25	
2. 事業実施計画						
	2-01: 事業の実施計画の妥当性、効率性	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●企画実施のスケジュールが、本業務を完遂できる妥当かつ現実的なものとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●採録記事の企画・制作について、法務省及び当センターが余裕をもって確認作業ができるスケジュールが組まれている。 	10	
3. 事業実施体制						
	3-01: 実施体制・役割分担	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●本事業の実施体制図及び役割が事業内容と整合している。 ●本事業を遂行可能な人員が確保され、十分な実施体制を整えている。 	—	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> / </div>	
	3-02: 事業遂行のための経営基盤・管理体制	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●本事業を実施する上で必要となる適正な財政基盤、一般的な経理処理能力を有している。 	—		
	3-03: 情報管理体制	必須	<ul style="list-style-type: none"> ●本件企画を実施するに当たり、知り得た法務省や当センターに関する情報、個人情報等について、適正に管理する体制がなされている。 	—		
			基礎点	50	加点 計	150
					基礎点+加点 合計	200